

連続講座第3回

メディアは 全ての人のため 隠された真実を暴け

ジェンダーの視点から考える真の安全保障
——脱軍事化と脱植民地化を目指して

シンポジウム

4月20日 土 13:30~17:00
(開場13:00~)

沖縄大学 本館 1階 同窓会館

基地・軍隊を許さない行動する女たちの会が1997年からつくってきた「軍事主義を許さない国際女性ネットワーク」では、軍隊が駐留する地域・国の女性たちと軍隊を送り出す国の女性たちが連帯し、真の安全保障の意味を問うてきた。その実現のための活動を報告する。



高里 鈴代

対話を求めた行動から生まれた
国際ネットワーク

基地・軍隊を許さない行動する女たちの会・共同代表、婦人相談員を東京と那覇で務める。那覇市議を4期。平和市民連絡会・共同世話人、オール沖縄会議・共同代表、軍事主義を許さない国際女性ネットワークの創設者。



宮城 晴美

日米同盟関係の中での構造的性暴力

基地・軍隊を許さない行動する女たちの会。沖縄女性史家。沖縄戦下の「集団自決」調査から、軍隊と性暴力について研究し、その背景にある家父長制と軍隊の構造的暴力を明らかにした。1996年から「沖縄・米兵による女性への性犯罪」年表作成を担当。



秋林 こずえ

安全保障の再定義を求め
国際ネットワークの継続

同志社大学大学院・教授、WILPF朝鮮半島平和プロジェクト。コロンビア大学でベティ・リアドン教授に師事し、1996年第一回ピースキャラバンをニューヨークで受け入れ。立命館大学を経て、2014年から現職。



宜野座 綾乃

軍事主義を問う女性たちの活動の経験

琉球大学島嶼地域科学研究所・准教授。米国でアメリカ研究で学位取得。カリフォルニアで大学教員をする傍ら、Women for Genuine Securityのメンバーとして8年、活動する。2017年より現職。



玉城 愛

足元の課題とつながる
ネットワークの未来

沖縄女性の社会運動史を調査・研究している。現在、女性たちの妊娠・出産をサポートする「一般社団法人おにわ」で勤務。女性たちの人権を考えて守る立場から、うるま市石川の旭区で計画されている自衛隊訓練場建設に反対している。

軍事主義に抗し、持続可能な未来を!

基地・軍隊を許さない
行動する女たちの会

基地・軍隊がもたらす暴力、環境破壊、差別、植民地支配などを共通する課題として報告し、討論を重ねて、持続可能な未来に向け、グローバルな行動を展開しています。



2017年沖縄大学で開催された「軍事基地を許さない国際女性ネットワーク会議 in Okinawa 2017」で韓国・フィリピン、プエルトリコ、グアム、ハワイ、アメリカからの参加者

沖縄・琉球弧の声を届ける会
ホームページはこちら

<https://ryukyukohp.jimdofree.com/>



オンライン参加の申し込み先

参加申込・ご寄付は
Peatix サイトより



ハイブリット配信

会場 沖縄大学本館1階同窓会館

申込不要

資料代 500円

オンライン ZOOM 申込必須

参加費無料

○ 後日、「沖縄・琉球弧の声を届ける会」Youtubeチャンネルにアーカイブ配信予定です。

ご寄付・カンパのお願い!

振込先

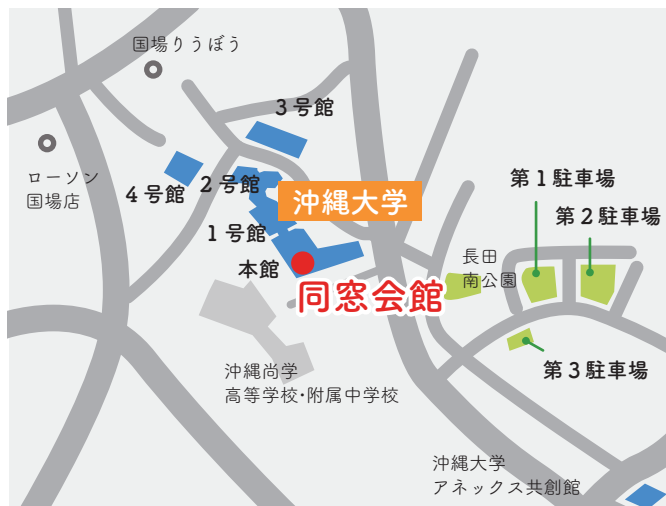
沖縄銀行泡瀬支店 普通 1941039
オキナワリュウキュウコノコエヲトケルカイ
(沖縄・琉球弧の声を届ける会)

PeatixにてWebからオンラインで寄付も受け付けます

詳しくは以下サイトから

<https://ryukyus.peatix.com/>

会場アクセス



沖縄大学 那覇市字国場 555

大学駐車場有り

バスをご利用の場合 市内線 那覇バス 6番

市外線 (那覇バスターミナル乗車)

35番 40番 309番 235番

賛同団体 泡瀬干潟を守る連絡会、沖縄環境ネットワーク、嘉手納ピースアクション、基地・軍隊を許さない行動する女たちの会、ジュゴン保護キャンペーンセンター、ノーモア沖縄戦命どう宝の会、平和市民連絡会、ヘリ基地反対協議会、ミサイル配備から命を守るうるま市民の会、NPO 法人奥間川流域保護基金、普天間基地爆音訴訟団、有機フッ素化合物 (PFAS) 汚染から市民の生命を守る連絡会、日本ジャーナリスト会議、日本ジャーナリスト会議沖縄